



／／ ピグマキッズクラブの 1年生I・Hさん が えらんだ ／／

「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社: 講談社)

こんな本だよ

つちのところで せみのようちゅうをみつけて なっちゃん はなづけたよ。
きょうからおまえは せみのたね。 さっそくうえきばちにいれて ずーっとおふ
ろのときも おともだちとあそぶときも、 ずーっともちあるきして ずーっとみ
ていて、 よるもべつとのそばにおいて、 あるひのよる、 うえきばちからせみが
でて、 そとへいって、 あさおきたから せみのぬけがらがあつて、 それをだい
じにしたつていう おはなしだよ。

この本のことがすき！

さいしよは せみのたね なんかないよとおもったんだけど、 よんでみたらあー
そういうことねっとおもった。 こういうほんつて だいめいをおもしろく、 だ
れがみても そんなのあるわけないっとおもわせて さいごは あーそういうこと
ねとおもつていうおはなしつて、 ちょっとおもしろいなおもつから。 すき
だとおもったよ。

本の
名前
なまえ

セミのたね

本を
書いた人
か

阿部 夏丸(作) / とりごえ まり(絵)
あべ なつまる (さく) / とりごえ まり (え)

「せみのたね」という表現^{ひょうげん}にびっくりするね。

なっちゃんはセミの羽化^{うかみ}を見ることができたのかな？

絵^えもとってもかわいいよ。

